

## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 シリウスビジョン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6276 URL https://siriusvision.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 辻谷 潤一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日沼 徹 TEL 045-595-9288  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,729	14.3	△81	—	△62	—	△72	—
2023年12月期第3四半期	1,513	27.1	△58	—	△4	—	△23	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △94百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△15.73	—
2023年12月期第3四半期	△5.20	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,232	2,612	78.6
2023年12月期	3,356	2,744	80.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,541百万円 2023年12月期 2,688百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	4.9	△87	△253.6	△67	△155.8	△38	△142.1	△8.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

除外 2社 (社名) 納維達斯机械(蘇州)有限公司、Willable株式会社

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 3 Q	5,722,500株	2023年12月期	5,722,500株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	1,080,392株	2023年12月期	1,103,923株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 3 Q	4,624,157株	2023年12月期 3 Q	4,604,626株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託 (J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2023年12月期179,100株、2024年12月期 3 Q174,500株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定において控除する自己株式に含めております (2023年12月期 3 Q179,211株、2024年12月期 3 Q178,564株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、コロナ禍からの社会・経済活動の正常化が進んでいくなかで、緩やかな回復が続きました。個人消費は、国内旅行の回復や外食等のサービス消費に持ち直しの動きが見られました。企業の設備投資は、製造業を中心にコロナ禍や物価高により先送りしてきた更新投資や人手不足に対応するための省人化投資等を背景に、好調に推移しました。特にIT投資については、金融業や製造業を中心に幅広い業種で投資意欲が高い状態にありました。

こうした経済環境の中、当社グループのビジョンであります「モノづくり現場の目視検査ゼロ」を実現するために、新技術・新製品の研究開発投資を維持しながら、中期経営計画達成に向けた事業戦略を遂行してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同四半期15億13百万円に対し14.3%増加の17億29百万円となりました。

画像検査事業は、本年夏から顕著になってきたラベル印刷市場における設備投資の先送りの影響を受け、当社主力の印刷品質検査用ソフトウェア「AsmilVision」を搭載したラベル検査機の販売が伸び悩みました。一方で、多機能ソフトウェア「FlexVision」を搭載した検版機「S-Scan-LNC」およびボトル・容器検査機「S-Bottle」シリーズの販売が堅調に推移しました。さらに、4年間にわたり高額の研究開発費を投資して開発してきた高速・広幅印刷検査用ソフトウェア「PolarVision」が、紙器パッケージ印刷の大手企業複数社に採用され売上を伸ばしました。

こうして、国内画像検査事業の売上は昨年より伸長しましたが、国内大型案件の搬送機械製造の遅延による受注・納品の遅れや、特注機械の顧客の設備投資計画の見直し、海外メーカーからの検査用搬送機の長納期化により、当初の売上・受注計画からの乖離が生じています。

このような状況下におきましても、当社画像検査技術に期待する国内顧客からの引き合いの増大に対応するために、計画に即した研究開発投資の継続と、開発者・技術者および営業人材の積極的な採用を進めてまいりました。また、本社と技術センターがワンチームとなるとともに、当社社員が働きやすいオフィス環境を構築し、新技術・新製品の研究開発と販売、顧客サポート力をより一層高めるために、新本社に移転しました。

こうした研究開発投資や人材投資、営業活動へのコスト投資、新本社移転と設備投資の結果、売上が販売費及び一般管理費増をカバーできず営業収益は悪化しました。

当社画像検査事業をAI(人工知能)とDX(デジタルトランスフォーメーション)、クラウドサービスで支えるUniARTSは、ラベル印刷メーカーや紙器・パッケージ会社への導入が進行しています。特にAI検査技術は多くの印刷工場現場で高く評価され稼働を始めております。

ウェブソフトウェアとクラウドサービスの企画・開発・運営を行う株式会社ウェブインパクトは、「Web給(給与明細サービス)」、「sync(スケジューラ同期サービス)」、「QuickGate(スキー場チケット販売サービス)」などのプロダクト販売や、受託開発、システム運用が堅調に推移するとともに、申請審査システムの行政サービス向けの受注と売上が継続して増大しています。

海外市場は、中国(シリウスビジョン上海)の画像検査事業が、昨年後半からの中国経済悪化による不況の長期化により、予定していた化粧品・医薬品ボトル検査機やチューブ検査機の受注・納品の遅れや、取引先である中国搬送機メーカーによる機械開発・製造の遅延が当初の想定よりも長引いていることにより、売上回復がさらに遅れております。この対応策として、人員削減等を策定し、今後の販売費及び一般管理費の圧縮を早急を実施していく予定です。また、昨年同期から市場開拓を始めた検版とラベル検査市場からの新規引合いと受注が増大していることから早期の赤字体質からの脱却が可能と考えております。

ASEAN画像検査事業は、コスト削減等のリストラ策の実行がほぼ終了し、経営体質の変革が進んでいますが、受注・売上が低迷しており厳しい業績となっております。タイ(シリウスビジョンタイランド)とベトナム(シリウスビジョンベトナム)ともにバックオフィスに情報共有システムを導入することによる業務プロセスの効率化を実施済みです。今期の重要テーマである日本とタイ・ベトナム間の営業・技術連携をさらに強くし、今期のコスト削減だけではなく、来期の業績向上に向けた受注活動の促進を図っております。新たな人材の採用活動も引き続き継続しており、さらなる経営体質の変革と営業体制の強化に取り組んでまいります。

上記のとおり、当第3四半期連結累計期間(2024年1月～9月)の当社グループ連結売上高は、海外事業と国内特注検査機の売上低迷および搬送機製造の納期遅延が影響し、2024年12月期の予想連結売上高28億円(2024年2月

14日開示)に対し、61.7%の達成率となっています。このような状況においても、今期の計画達成と来期以降の持続的成長のために、新技術・新製品の研究開発投資、ソフトウェア新製品開発投資、研究開発技術者の新規採用、および新市場開拓など、計画にしたがって新規投資を続けてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の研究開発費投資額は、144百万円を計上いたしました。さらに、顧客向け技術サポート人員と国内外営業担当者の増員など、来期以降の継続的成長のために積極的な人材投資を実行してまいりました

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は17億29百万円（前年同期比14.3%増加）となりました。また、損益面におきましては、営業損失は81百万円（前年同期は営業損失58百万円）、経常損失は62百万円（前年同期は経常損失4百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は72百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円）となりました。

## （2）当四半期の財政状態の概況

財政状態について、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億23百万円減少し、32億32百万円となりました。これは主として、電子記録債権が31百万円、仕掛品が80百万円、有形固定資産が1億35百万円、ソフトウェア仮勘定が1億6百万円、投資有価証券が6百万円増加したものの、現金及び預金が2億30百万円、受取手形及び売掛金が1億92百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して7百万円増加し、6億19百万円となりました。これは主として借入金が95百万円増加、支払手形及び買掛金が57百万円、未払消費税等が36百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億31百万円減少し、26億12百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が4百万円増加したものの、為替換算調整勘定が42百万円、利益剰余金が1億20百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して1.5ポイント減少し、78.6%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細に関しましては、本日(2024年11月14日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,083,280	852,729
受取手形及び売掛金	673,922	481,468
電子記録債権	2,324	33,489
商品及び製品	50,677	43,664
仕掛品	291,445	372,102
原材料及び貯蔵品	316,404	311,908
未収還付法人税等	1,601	653
その他	194,567	175,985
貸倒引当金	△5,494	△5,580
流動資産合計	2,608,728	2,266,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,320	80,456
機械装置及び運搬具（純額）	956	1,783
その他（純額）	2,692	57,794
有形固定資産合計	4,969	140,034
無形固定資産		
のれん	53,475	47,058
ソフトウェア	165,494	132,665
ソフトウェア仮勘定	51,394	157,907
無形固定資産合計	270,364	337,631
投資その他の資産		
投資有価証券	422,590	429,499
その他	57,120	66,711
貸倒引当金	△7,721	△7,721
投資その他の資産合計	471,989	488,489
固定資産合計	747,322	966,155
資産合計	3,356,051	3,232,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,220	169,896
1年内返済予定の長期借入金	—	19,992
リース債務	858	245
未払法人税等	18,731	37,018
未払消費税等	61,181	24,763
賞与引当金	31,895	13,325
その他	217,454	215,932
流動負債合計	557,341	481,173
固定負債		
長期借入金	—	75,010
リース債務	735	796
株式給付引当金	30,206	36,384
繰延税金負債	14,409	17,000
その他	9,299	9,299
固定負債合計	54,650	138,491
負債合計	611,991	619,665
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,946,096	1,950,469
利益剰余金	837,584	716,910
自己株式	△365,888	△358,030
株主資本合計	2,517,791	2,409,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,632	58,037
為替換算調整勘定	116,851	73,962
その他の包括利益累計額合計	170,483	131,999
非支配株主持分	55,784	71,563
純資産合計	2,744,059	2,612,912
負債純資産合計	3,356,051	3,232,577

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,513,550	1,729,658
売上原価	741,511	882,541
売上総利益	772,039	847,117
販売費及び一般管理費	830,699	928,610
営業損失(△)	△58,660	△81,493
営業外収益		
受取利息	308	455
受取配当金	5,608	6,206
受取賃貸料	5,159	20
貸倒引当金戻入額	36,636	—
為替差益	4,005	9,052
受取補償金	10,042	—
その他	979	4,337
営業外収益合計	62,739	20,072
営業外費用		
支払利息	—	481
リース解約損	—	92
売上債権売却損	16	73
棚卸資産廃棄損	8,180	—
その他	11	35
営業外費用合計	8,208	682
経常損失(△)	△4,129	△62,103
特別利益		
子会社清算益	—	47,065
固定資産売却益	62,020	—
特別利益合計	62,020	47,065
特別損失		
損害賠償金	—	1,638
契約解約損	42,043	—
投資有価証券評価損	3,606	—
減損損失	6,821	—
特別損失合計	52,470	1,638
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,420	△16,676
法人税等	20,777	39,361
四半期純損失(△)	△15,356	△56,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,567	16,703
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,923	△72,741



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△15,356	△56,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,170	4,404
為替換算調整勘定	23,118	△42,839
その他の包括利益合計	45,288	△38,434
四半期包括利益	29,932	△94,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,291	△111,224
非支配株主に係る四半期包括利益	8,640	16,752

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)

当社の連結子会社でありました納維達斯机械（蘇州）有限公司は、2024年2月2日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。また、当社の連結子会社でありましたWillable株式会社は、2024年4月1日付で、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	
(税金費用の計算)	<p>当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。</p> <p>ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。</p>

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、画像検査関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	45,613千円	78,827千円
のれんの償却額	6,417千円	6,417千円